

コミュニティ・スクールだより



南関町教育委員会教育課

学校運営協議会を設置している学校を「コミュニティ・スクール」といいます。南関町の各小中学校に学校運営協議会が設置され4年目を迎えました。各学校には、教育委員会が委嘱した5名の委員がおり、校長から学校運営方針等の説明を受け、その運営方針を承認するなどの話し合いが各学校で年間に4～5回程度実施されています。南関町としても各小中学校の委員の皆様全員を対象にした研修会等も実施しています。

各小中学校の学校運営協議会委員の皆様を紹介

南関第一小学校	南関第二小学校	南関第三小学校	南関第四小学校	南関中学校
大里 耕守	松本 桂子	齋田 秀利	山口 明美	野田 泰臣
武田 房子	釘崎 収悟	荒牧 好幸	清田 政勝	堀 千鶴子
嶋永 健一	釘崎眞貴子	福山 正英	松永 真哉	大石 和幸
菅原 裕	立石 葉子	宮本 征典	打越 洋幸	佐藤 安樹
坂本 泰子	田原 真紀	北島 瑞穂	松永 杏奈	加藤美智子

本年度の各学校の委員の皆様を紹介します。学校の取組み等への質問がありまし直接学校か委員の皆様にご連絡ください。**地域・行政・学校・保護者・子どもの5者連携・協働**により南関町の発展と子どもたちの育成を目指します。

南関町第1回学校運営協議会全体会

7月20日(月)

14:30～16:30 南の関 うから館

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、委員の皆様への委嘱状の交付や学校運営についての説明とその承認は各学校での第1回学校運営協議会で行ってもらい、町の全体会は、7月20日(月)に実施しました。本協議会の副会長には、大里耕守様が指名されました。

会長(教育長)挨拶

南関町のめざす子ども像

～夢・絆・挑戦～

- 南関町を誇りに思い、ふるさとを愛する子ども
- 明るくたくましく、元気にあいさつできる子ども
- 思いやりの心もち、自分の考えを伝えられる子ども
- 夢に向かって、自ら学び挑戦する子ども

- 「南関町のめざす子ども像」を紹介します。
- 新型コロナウイルス感染症対策については、地域の皆様に消毒等をお世話になりありがとうございます。
- 児童生徒ひとりひとりが、それぞれの教室等で使えるタブレットを本年度中に準備します。
- 最近の新聞に掲載された小中学校の地域学校協働活動の記事や4週連続で新聞に投稿された【若者コーナー】の記事がありました。

南関町学校運営協議会に部会を設置

40人の全体会では、全員からご発言をいただくと1人が1分話しても40分かかり、協議を深めづらい。しかし、**部会があれば協議の柱を決め協議を深めやすい。**

学力向上部

心づくり部

体づくり部

環境充実部

各 部 会 での 協 議 の 様 子

本 部 で 協 議 の 柱 を 示 	学力向上部	活動例 コロナ対策 ●児童生徒一人一人が使用可能となるタブレットの操作能力の向上	日常的な活動 ●「勉強の名人(学習の達人)」や「家庭学習の手引き」の定着 ●育ちのものさしの定着 ○学校図書館支援 ●教育機器の整備や活用支援 ○校外学習見守り ●地域教育力の活用 ○稲作体験等の支援 ○放課後・休業日の学習支援 ○陶芸教室の実施
	心づくり部	●新型コロナウイルス感染症対策としての「新しい生活様式」に努める態度及び実践力の育成 ●心身へのストレスの解消と生活習慣の安定	●育ちのものさしの定着 ●町内・地域行事への参加 ○いじめ不登校対策支援 ○読み聞かせ ○体験活動やキャリア教育の支援 ○郷土を愛する心 ○地域の歴史 ○地域理解と地域への貢献 ○挨拶運動 ○伝統芸能保存活動等
	体づくり部	●新型コロナウイルス感染症への感染抵抗力をつける ●望ましい食習慣の育成	●育ちのものさしの定着 ●登下校見守り ○基本的な生活習慣の育成 ●地域避難訓練 ○食に関する指導 ○スクールガード ○中学校の部活動支援 ○遊具整備 ○地域と一体になった運動会の実施 (本年度は地域の招待なし)
	環境充実部	●児童生徒等の下校後の消毒 ●今後のコロナの状況に応じた児童生徒の見守り等の充実 ○タブレットを使用するための環境整備(町)	○学習環境の整備・充実 ○掃除用具入れや靴箱・踏板等の整備 ○学校花壇・畑の整備 ●除草や樹木の剪定等の環境美化 ●通学路点検



①学力向上部の協議内容

記録用紙: (学力向上) 部 【目標:主体的に学ぶことができる子供の育成】	
コロナ対策 (学 校)	1 子どもたちが主体的に学ぶための授業改善 ・効果的な授業でのI C T機器(特にタブレット 端末)活用の仕方を探る。(教職員) ・I C T機器の使用にあたっては、学校教育専門指導員やI C T支援員の支援をいただきながら効果的な活用方法を模索する。 ・公開授業や授業参観等でI C T機器を用いた授業を積極的に行う。 ・大切に機器を扱ってほしい。 ・G Aスクール構想の具現化(通信環境の整備) ▲タブレットを使った授業等を実践してみないことには進まない。
コロナ対策 (家庭・地域)	1 子どもたちが主体的に学ぶことができるための工夫や生活改善が必要である。 ・学校運営協議会で各学校の授業参観をしてその効果や課題を把握し、人材の派遣等を地域学校協働活動に求める。 ・タブレット 端末を子供1人に1台与えるならば、機器を大切に扱うことや情報モラルの指導は家庭でも行っていく。
日常的な活動 (学 校) 連携・協働	1 育ちのものさしや家庭学習の手引きの定着 ・「自学」のやり方についての指導の工夫が必要である。 ・中学1年生の自学の取り組みが、数年前に比べスムーズに行っている。小中連携の成果といえる。 ・南関一小で取り組んでいる「10分間自学」から、学びに向かう力・振り返る力が必要だと感じる。 ・小学校の自学ノートを見ると、「自分のための学習になっていない」という感が否めない。 2 子どもたちが主体的に学ぶことができるための指導が必要である。 ◎家庭学習においても、子どもが主体的に学んでいけるよう9年間を見通した指導・支援を行っていかなければならない。
日常的な活動 (家庭・地域) 連携・協働	1 育ちのものさしや家庭学習の手引きの定着 ・「自学」のやり方に課題がある。 ・自学の量については、児童生徒の主体性に任せてよいのではないか。 2 子どもたちが主体的に学ぶことができるための工夫や生活改善が必要である。

②心づくり部の協議内容

記録用紙: (心づくり) 部 【目標:望ましい人間関係と郷土愛の醸成】

<p>コロナ対策 (学 校)</p>	<p>1 プールが始まったことにより、密を避けるため、どのような対策をとつたらいいのか、5、6年を中心に考える機会を与えた。(一小) 2 マスク着用・消毒・手洗いなど基本的なことを実施している。熱中症対策もあり、登下校のマスクは強制していない。また、プールの中で使用した物に対するの消毒や、更衣室での密集を防ぐ対策など、状況に応じて取り組んでいる。(中学校)</p>
<p>コロナ対策 (家庭・地域)</p>	<p>1 外出時の対策について ・不要不急の外出を控え、外出時は必ずマスク着用を徹底している。大牟田市ではマスク徹底している方がほとんどであるが、山鹿市ではマスク着用している方が少ない。親の考え、地域で意識の違いがある。 ・大型ショップ店には行かず、なるべく室内よりも外で遊ぶように心がけている。 ・ならし登校時には緊迫していたが、最近は気が緩んできているように思える。 ・子どもの方が学校からの啓発により、いろんな対策を知っている。親に対してももっと町からの啓発活動が必要である。 2 福祉体験学習等について ・夏休みひまわり教室など例年開催しているイベントも中止となっている。福祉体験学習も現在控えている状況であるため、障がい者、高齢者の方へのかかわり方を別の形でつないだり、学習する機会をつくっていく必要がある。(社協)</p>
<p>日常的な活動 (学校・家庭・地域) 連携・協働</p>	<p>1 挨拶について ・大人から積極的に声かけするようにしている。中には気持ちの良い挨拶をしてくれる子どももいるが、子ども(特に中学生)から自発的に挨拶する子どもは全体の2割ぐらい。 ・スマホやゲームなどメディアの環境でなかなか睡眠時間が短く、朝から元気が見られない子どもが多い。 2 自己表現力について ・挨拶ができないことにより、自分の意思を伝えることができない子どもが多い。自己表現力を養うためには、大人が待つ姿勢をとり、丁寧に向き合っていくことが大切である。 ・自分の意見や感想を言える子どもは日頃からグループワークなどで培っているようなので、自分の意見を伝えることができるような日頃からの工夫、経験が重要である。 3 地域行事について ・地域の祭りや行事に大人も子どもと一緒に出向いて、地域を知る機会をつくる。 4 今後について ・ゴミ出しカレンダーのように「目指す南関町の子ども像」「育ちのものさし」を家庭でも見える場所に貼ってもらえるよう、もっと周知していく必要がある。 ・例えば、「笑顔で挨拶すること」など、目標を一つに絞って話し合う。学校ではどうか、地域ではどうか、今後もっと議論を深めていく必要がある。</p>

③体づくり部の協議内容

記録用紙: (体づくり) 部 目標:望ましい食事と運動の習慣化

<p>コロナ対策 (学 校)</p>	<p>1 望ましい食習慣(生活習慣) ・小中学生の8割は朝食をとっているが、菓子パン程度の朝食となっている児童生徒もいる。菓子パンだけでは体づくりに向かない。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、健康観察チェックシートを児童生徒に配布して学校でも確認している。 ・学校や教育委員会で朝食週間を設定し、書面や防災無線・安心安全メール等で望ましい食習慣についての広報活動を行う。書類等の作成は、トップ隊にお世話になってはどうか。</p>
<p>コロナ対策 (家庭・地域)</p>	<p>・学校での子ども様子を見ているが、同じ子どもでも朝食を食べたときと食べていないときでは、明らかに集中力に差がある。</p>
<p>日常的な活動 (学 校) 連携・協働</p>	<p>2 望ましい運動の習慣化 ・体脂肪がやや高い子どもが増加しているので、体脂肪を下げる取り組みが必要である。 ・学校でラジオ体操を実施してみてもどうか。 ・「A-lifiなんかん」や大学と連携して、体力向上コンソーシアムに取り組んでいる。体育サポーターの派遣もあり、水泳やマット・鉄棒等の指導支援も実施している。</p>
<p>日常的な活動 (家庭・地域) 連携・協働</p>	<p>・地域でのNewスポーツやなんかんっ子クラブにも取り組んでいる。</p>

④環境充実部の協議内容

記録用紙：(環境充実)部 目標：学ぶ意欲のわく学校づくり

<p>コロナ対策 (学 校)</p>	<p>1 下校後の消毒 ・二小:教職員による消毒活動を行っている。7/13~21は、保護者の協力をいただいた。 ・三小:保護者や地域の方々の協力により、夕方の消毒活動を行っている。 ・四小:月曜と木曜は、保護者による消毒活動を実施している。 ・中学校:地域の方々の協力により、消毒活動が実施できている。</p>
<p>コロナ対策 (家庭・地域)</p>	<p>1 下校後の消毒 ・婦人会として消毒活動を実施しており、充分とはいえないが協力しているつもりである。しかし、地域の方々の協力にも限界があるので、なるべく保護者の協力が必要ではないかと感じた。(自分の子どもは自分が守るという意識をもっと持ってほしい。) ・三小には、婦人会として週2回出向いて消毒活動を行っている。 ・ボランティア協力から期限がないので高齢者であるため負担となっている。</p>
<p>日常的な活動 (学 校) 連携・協働</p>	<p>1 除草や樹木の剪定等 ・二小:学校や通学路の除草作業等を町で予算化できないのか? ・職員と地域の方々と協力して除草作業を行っている。 2 登下校の見守り等の充実 ・二小:保護者での見守りを実施している。 ・三小:週3回の防犯パトロールと週1回の保護者による朝の街頭指導を行っている。 ・中学校:保護者で朝夕の街頭指導を行っている。 ・職員も定期的朝の交通指導や毎日の下校指導を行っている。</p>
<p>日常的な活動 (家庭・地域) 連携・協働</p>	<p>1 除草や樹木の剪定等 ・二小:地域の方々と協力をいただければと思う。 ・三小:自分が気づいたときにボランティアとして行っている。 地域の方が学校にいるときには誰に言えばよいか分からない。 作業時間についても子どもがいない時間帯に行っている。 ・保険の適用についても詳しい説明がほしい。 2 見守り等の充実 ・大雨や災害等があったので、適宜通学路を各学校で確認してほしい。また、地域からも情報提供をいただくようにした方がよいと思う。 ・登校班の人数等の把握もしてほしい。</p>

「社会に開かれた教育課程」の実現のためのコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

